

# 軍事技術者の 築城・大砲・理想都市

## イタリア・ルネサンス

白幡俊輔 著

▼A5判・三〇〇頁  
定価 五、八八〇円(税5%込)

二〇一二年三月刊行

幾何学的な平面プラン・直行する街路・整然と配置された街区など、初期ルネサンス期の建築家が夢想した「理想都市」論は、火器の発達とともに軍事的機能に特化していくと単線的に理解されてきた。  
本書は、一五世紀シエナの建築家、フラン

シスコ・ディ・ジョルジヨの築城術のなかに共存する合理的な態度と非合理的な態度や、一六世紀以降の築城術にも「理想都市」論的な要素がみられる点など指摘し、ルネサンス期の築城術の変遷過程を問い直す。  
現存する城郭の写真を多数収録。



ターラント砦



モンダヴィオ砦の大砲

序文 軍事技術とルネサンス期  
イタリアの社会

第1章 ルネサンス期イタリアの

戦争・武器・傭兵

第2章 フランチェスコ・ディ・

ジョルジヨの城砦設計と「戦術」

第3章 ルネサンスの築城術における

合理性追求と古典再解釈

第4章 都市防衛を超えて  
— 16世紀の築城術 —

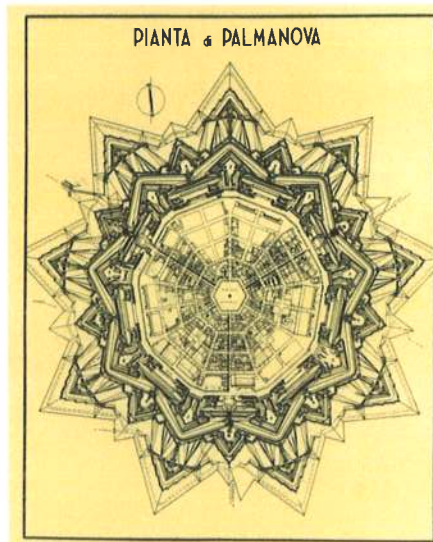
第5章 築城術と「国家の防衛」戦略

終章 軍事技術の変遷がもつ歴史的意味

資料編

(マキヤベッリ『フィレンツェ築城検視報告書』全訳ほか)

索引(人名・地名・事項)



パルマノーヴァ地図

しらはた・しゅんすけ：一九七八年大阪府生まれ。  
二〇一〇年京都大学大学院人間・環境学研究科博士  
後期課程修了。京都大学博士(人間・環境学)。現  
在、関西学院大学客員研究員。専門、軍事技術史。  
【主要論文】「中世城壁から稜堡式城郭へ—15世紀イ  
タリアの軍事技術・建築家・君主—」(今谷明編『王  
権と都市』思文閣出版、二〇〇八年)、「15世紀イタ  
リア傭兵隊長の戦術と戦略」(『西洋中世研究』二〇  
一〇年)他。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	軍事技術者のイタリア・ルネサンス		本体5,600円(税別)	ISBN978-4-7842-1625-3
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				
					書店番線印

## ※王権と都市

今谷明編

国際日本文化研究センターでの研究の集大成として、編者が壮大な展望のもと組織した共同研究「王権と都市に関する比較的研究」の成果。日本、アジア・イスラーム、ヨーロッパの3領域から11篇の論文を収め、各時代・各地域での都市史のあり方を相互に比較検討し、「都市とは何か」という命題の解明に挑んだ一書。

▶A5判・372頁/定価7,140円

ISBN978-4-7842-1396-2

## ※武士と騎士 日欧比較中近世史の研究

小島道裕編

人間文化研究機構連携研究「武士関係資料の総合化」の一環として、日仏で行われた国際シンポジウムの成果。具体的な資料に基づき、多様な側面から武士と騎士をとりあげた論考19本を収録。【内容】城と領主権/日欧甲冑比較論序説/日欧城郭比較論/洛外洛中図屏風と描かれた公武関係/近世武士の年中儀礼と言説 他

▶A5判・512頁/定価9,450円

ISBN978-4-7842-1507-2

## 一八世紀日本の文化状況と国際環境

笠谷和比古編

さまざまな局面において独自性にみちた文化的発展をみせ、近代化に多大な影響を与えた、日本の18世紀の文化的状況はいかに形成され、それらは東アジア世界、また西洋世界までふくめたグローバルな環境下で、いかに影響を受けつつ独自の展開を示したか。多角的にアプローチした国際日本文化研究センターでの共同研究の成果23篇。

▶A5判・582頁/定価8,925円

ISBN978-4-7842-1580-5

## 一六世紀イングランド農村の資本主義的発展構造

松村幸一著

故・松村幸一氏(大阪経済大学名誉教授)の、膨大な数にのぼる、16世紀イングランド農村における資本主義発展に関する論文のうち、主要な論文をまとめた一書。戦後の大塚史学と、イギリス資本主義を含む各国資本主義の類型をめぐって激しく論争した中で生まれた諸論考を2部構成で収録。巻末に参考文献と索引を付した。

▶A5判・660頁/定価14,700円

ISBN978-4-7842-1575-1

## ヴィクトリア朝英国と東アジア

川本皓嗣・松村昌家編

大手前大学比較文化叢書3

近代化過程における日本・中国・朝鮮と英国との文化交流誌。【内容】ムスメに魅せられた人々—英詩のジャポニスム/キプリングと日本/交差する両洋の眼差し/『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』の東アジア/中村正直—洋学に転じた漢学者/ミルのOn Libertyは明治日本と清末中国でどのように読まれたか 他

▶A5判・280頁/定価3,360円

ISBN4-7842-1297-3

## ジャポニスム入門

ジャポニスム学会編

19世紀後半から20世紀前半にかけて、西洋芸術の諸分野に影響を与えた日本文化の、これまであまり紹介されなかった地域も含め各国別の個性的な展開をやさしく読み解き、さらに建築、音楽、写真、モードという絵画・工芸以外の分野におけるジャポニスムをも射程に入れ、ジャポニスムの全体像に迫る。

▶A5判・292頁/定価2,940円

ISBN4-7842-1053-9

## 日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

明治維新以降、近代化の歩みを支えた産業技術史を俯瞰する読む事典。【項目】機械/素材/産銅業/石炭産業/動力と動力システム/鉄道と船/航空機と自動車/情報・通信/生産技術/農業・林業・漁業/食品加工業/繊維と衣服/耐久性消費財/建築とデザイン/環境技術/学協会と技術者集団/技術者教育/研究開発機関 他

▶B5判・550頁/定価12,600円

ISBN978-4-7842-1345-0

## 近代日本公園史の研究

丸山宏著

近代欧米都市起源の公園が、いかに近代化の装置として導入され、衛生問題、都市問題、記念事業、経済振興策、政治的役割などさまざまな問題を孕みながら受容されてきたか、その歩みを社会史のダイナミズムのなかにとらえた一書。【内容】公園観の諸相/公園行政の展開/公園地の取得と公共性/地方経済と公園問題/国家的公園の展開

▶A5判・400頁/定価8,820円

ISBN4-7842-0865-8

## 公家と武家シリーズ [全5冊]

国際日本文化研究センターで行われた公家(貴族)と武家に焦点を合わせた共同研究の成果シリーズ。武士層が成長した地域と、文官支配が優越した地域との差異に着目。前近代社会における支配エリートであったそれらの身分や職能のもつ意味、その秩序の形式、社会的役割といったものを多角的に検討した論集。



### IV 官僚制と封建制の比較文明史的考察

笠谷和比古 編

ISBN978-4-7842-1389-4

▶A5判・544頁/定価8,925円

### III 王権と儀礼の比較文明史的考察

笠谷和比古 編

ISBN4-7842-1322-8

▶A5判・458頁/定価8,190円

### II 「家」の比較文明史的考察

笠谷和比古 編

ISBN4-7842-1019-9

▶A5判・530頁/定価9,870円

### I その比較文明史的考察

村井康彦 編

ISBN4-7842-0891-7

▶A5判・444頁/定価8,190円

### 国際シンポジウム 公家と武家の比較文明史

笠谷和比古 編

ISBN4-7842-1256-6

▶A5判・490頁/定価8,400円

### ※「王国」と「植民地」

山本正著

近世イギリス帝国のなかのアイランド

「王国」にして「植民地」——アイランドのイギリス帝国におけるこの両義性は、近代国家イギリスの他に類をみない特異なありようを示している。本書は、16~18世紀におけるアイランドのイギリスとの複雑な関係を最新の研究動向を踏まえつつ丹念に分析し、その位置づけと変遷にとりくんだ著者20年来の成果。

▶A5判・236頁/定価2,940円

ISBN4-7842-1096-2

### ※鉄道日本文化史考

宇田正著

日本の近代化のなかで陸蒸気=鉄道がもたらしたものは、はかり知れない。本書では「文化の鏡」としての鉄道をとりあげ、知識人の体験や一般人の認識から民俗・観光(巡礼)・教育との関わりを通して、鉄道が日本人の内的形成に果たした文化的役割を明らかにする。

▶A5判・352頁/定価5,775円

ISBN978-4-7842-1336-8

### 技術と文明 [既刊31冊]

日本産業技術史学会編

日本産業技術史学会は、産業技術に関する歴史について調査・研究を促進し、その成果を社会に還元することを目的として、1984年7月に設立された。産業研究の各分野、経済学、人類学、日本史、工学等の広範囲の専門家による学際的交流の下で、産業技術史研究の基礎確立を目指す。本誌はその研究発表の場。

▶B5判・平均80頁/揃定価64,551円

### 都道府県庁舎 その建築史的考察

石田潤一郎著

明治維新以降、今日まで100件をこえる都道府県庁舎が建設されてきた。本書では、一次史料をもとに同庁舎の歴史的展開を個別にあとづけ、地方行政制度史・地域史の中で位置づけるとともに、図版史料によってその平面計画及び立面意匠の具体的な把握も試みた。収録図版200余点。

▶A5判・448頁/定価9,030円

ISBN4-7842-0775-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。